

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

タバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況と防除対策について（技術情報第8号）について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、防除指導の参考資料としてご活用下さい。

記

1 調査方法

(1)コナジラミ採取及びウイルス検定方法

所定の場所にトマト「ハウス桃太郎」の苗をそれぞれ12株設置し、10日以内に寄生したタバココナジラミ成虫を採取し、PCR法によりトマト黄化葉巻ウイルス保毒の有無を調査した。

(2)採取場所

熊本市、玉名市、八代市の各1ヶ所。トマト冬春作跡のハウスから数百mの地点。

(3)採取時期

	7月上旬	8月上旬
熊本市	7月3日～7月10日	7月30日～8月2日
玉名市	7月3日～7月9日	7月30日～8月1日
八代市	7月2日～7月12日	7月31日～8月6日

2 結果および考察（表1参照）

トマト栽培終了後の7月上旬の保毒虫調査では、10%～75%、1ヶ月後の8月上旬では0%～10%に低下した。この現象は、昨年（平成18年9月29日付け 技術情報第13号参照）一昨年（平成18年3月16日付け 技術情報第15号参照）もみられており、本年も作型を統一している産地では同様な傾向を示した。

このことから、トマトの栽培を絶って1ヶ月以上経過すると産地内の保毒虫密度は低下していると考えられるが、保毒虫は確認されており、防除対策の徹底は必要である。

表1 7月上旬と8月上旬の保毒虫率（平成19年）

地点名	栽培終了	7月上旬			8月上旬		
		供試頭数 (頭)	保毒虫率	昨年の 保毒虫率	供試頭数 (頭)	保毒虫率	昨年の 保毒虫率
熊本市	6月30日	20	75.0%	50.0%	20	10.0%	0.0%
玉名市	7月5日	20	10.0%	48.3%	20	0.0%	-
八代市	6月10日	8	37.5%	13.3%	20	5.0%	-

### 3 防除対策

トマト黄化葉巻病は育苗期や生育初期に感染すると被害が大きくなるので、発生を防ぐために、以下の防除対策を徹底する。

#### 定植前の管理

地域内の野良生えトマトは、ウイルスの伝染源となるので除去する。また、施設周辺及び内部の雑草は、タバココナジラミの生息・増殖場所となるので、必ず定植の10日前までに除去する。栽培期間中も定期的に除草する。

#### 施設内へのタバココナジラミ侵入防止

育苗施設やハウス等の開口部（天井、サイド、換気部など）には目合い0.8mm以下の防虫ネットを必ず設置し、タバココナジラミの侵入を抑制する。なお、目合いを小さくするほど侵入阻止効果は高いが、高温対策に留意する。

黄色粘着トラップを施設内に設置し、コナジラミの早期発見に努める。

#### 感染源の除去

育苗施設内やハウス内の発病株は二次伝染源となるので、見つけしだい直ちに抜き取り、施設外に持ち出し埋没処分するか、ビニール袋等に入れて完全に枯れるまで密封処理する。

#### 薬剤防除：

防虫ネットのみでは、タバココナジラミの侵入を完全には防げないため、薬剤防除を併せて徹底する。また、育苗期後半、定植時には粒剤を施用する。

（注意：農薬使用にあたっては、使用方法、使用時期、総使用回数等を厳守する。）

熊本県農業研究センター 生産環境研究所  
病害虫研究室 予察指導係（病害虫防除所）  
担当：東 TEL：096-248-6490